

関市の環境トピックス-1

～バイオディーゼル燃料でゴミ収集車を走らせる 実証実験～



ゴミ収集車にバイオディーゼル燃料を給油

2022年2月9日

関市は2050年における二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを宣言しました。

この「ゼロカーボンシティ宣言」の取組の一環として、市内にあります（有）関環境サービスと覚書を締結（令和4年9月28日締結）、

関市学校給食センターの廃食油をバイオディーゼル燃料としてリサイクルし、軽油の代わりにゴミ収集車の燃料とする実証実験を令和4年10月1日から開始しました。

この取り組みにより、ゴミ収集車で使用していた化石燃料由来のCO₂排出量を削減し、さらに学校給食センターから排出される廃棄物の減量化を行いました。

取組の効果

10月1日から半年間の取組により、化石燃料由来のCO₂排出量を約7トン削減できました。これは一般家庭2世帯分の年間排出量に相当します。

また、今回の実証実験では、使用したゴミ収集車2台の稼働状況に大きな問題なく、収集作業を行うことができました。今後、冷房を使用する夏場においても実証実験を継続し、1年を通じた稼働状況の確認を行います。

このように、市も一事業者として、環境負荷の低い事業活動を推進し、市民・事業者・団体のみなさんと協力して2050年における二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目指します。



（有）関環境サービス 精製施設

関市の環境トピックス-2

～環境フェアせき2022を開催～



令和4年10月10日(月・祝)、「環境フェアせき2022」を関市文化会館にて開催しました。環境保全活動を行っている市民団体や企業、学校など40団体が出展し、各団体のブースでは活動紹介や体験、販売などで来場者との交流を深めました。

今回は、「ゼロカーボンってなに？みんなで学ぼう！はじめよう！」をテーマに、エネルギーを体験する「人力発電ゆうえんち」や木場弘子さんによる環境講演会「子どもたちの未来のために考えたい エネルギーや環境のこと」、

ゼロカーボンについて楽しみながら学ぶクイズ&スタンプラリーなど、ゼロカーボンやエネルギーについて来場者のみなさんに理解を深めていただくための企画を実施しました。また、地域の特産品ブースや木工体験、木のおもちゃや草花遊び、エコカー展示など15団体の新規出展があり、多くの親子連れでにぎわいました。



人力発電ゆうえんち

参加者アンケートでは「体験が多く子どもも楽しめた」「環境について考えるきっかけになった」「これからはできることから気を付けていきたい」などの声があり、家族で一緒に楽しみながら環境について考え、できることから始めるきっかけになったのではないかと思います。



文化会館の屋内ブース

関市の環境トピックス-3

～環境セミナーの開催～

市民の環境への関心を高め、環境美化や環境保全を意識した行動に結びつけることを目的として、環境セミナーを行いました。今年はゼロカーボン啓発のためのセミナーもあり、さまざまな内容での開催となりました。



市役所周辺自然観察会

自然環境関連では、「市役所周辺自然観察会」「せき・ホテルの楽校」「関川生き物調査」「樹木診断ツアー」「遊んで学ぼう！冬の森～安桜山編～」

「間伐材の端材で作る道具箱」を開催。環境ネットせき、関ホテルの会、ふるさと自然再生研究会、岐阜美濃生態系研究会などの協力のもと、親子と一緒に自然に触れあう機会を多く創出しました。

廃棄物関連では、「身の回りが整うお片付け講座」「親子でお片付け&かんたんリメイク講座」を開催。関心の高い「お片付け」をテーマに開催することで多くの方に参加していただくことができました。



親子でお片付け&かんたんリメイク講座

ゼロカーボン関連では「ゲームで学ぼう！省エネ講座」「家電の上手な使い方と選び方講座」を開催。地球温暖化やエネルギー問題を学びながら、家庭での電

気の使い方を改めて見直し、省エネのためのコツなどを知っていただく機会となりました。また、ゼロカーボンにつながる行動は幅広くどの分野も関連するため、それぞれのセミナーで関市ゼロカーボンシティ宣言の資料を配布・説

明するなど、ゼロカーボンに関する啓発を図りました。

参加者からは、「とてもためになりました」「家族と一緒に楽しい時間を過ごせました」などの声があり、セミナーを通して環境への関心を高め、行動に結びつけるきっかけになったのではないかと思います。



家電の上手な使い方と選び方講座